

～下関市と釜山広域市の姉妹都市締結 40 周年記念行事～

下関市総合政策部国際課

(釜山広域市派遣職員)

阿部 さおり

안녕하세요!

前回の記事でもお伝えしましたが、今年下関市と釜山広域市の姉妹都市締結 40 周年です。これを記念して、両市の市長がお互いの市をそれぞれ訪問しました。

まず、8月20日に下関市で行われた朝鮮通信使行列再現行事では、その正使役として徐秉洙(ソ・ビョンス)釜山広域市長にご参加いただきました。本行事は、室町時代から江戸時代にかけて朝鮮王朝から送られてきた使節団の行列を再現したもので、色鮮やかな衣装をまとった日韓の参加者約200名が太鼓や銅鑼を鳴らしながら、市内を行列するものです。2004年から馬関まつりと併せて行われるようになり、「善隣友好・誠信交隣」の精神のもと、両市の市民レベルでの交流を一層深める馬関まつりの主要なイベントの一つになっています。翌日には、徐市長へ下関市国際親善名誉市民の称号が中尾友昭下関市長より贈呈されました。

また、10月18日に釜山広域市で行われた下関市と釜山広域市の姉妹都市締結40周年記念式典には、中尾市長を団長とする88名の市民訪問団の皆さんが出席されました。

記念式典は、海雲台グランドホテル22階のスカイホールで行われました。式典に先立ち、中尾市長と徐市長の会談が行われ、今後の下関市と釜山広域市の姉妹都市関係のみならず、日本と韓国の関係についても今後も良好な関係を築いていくことを約束し、固い握手を交わしました。

記念式典では、開会宣言から始まり、両市の交流状況の説明、徐市長から中尾市長へ釜山広域市名誉市民証の授与が行われました。続いて、両市長の挨拶、両市議会議長からの祝辞などをいただいた後、両市の職員がそれぞれの市旗を掲げ入場しました。引き続き、両市の交流公演が行われ、下関市側の公演とし

て、下関舞踊協会による「上臈道中」が披露されました。禿、官女、太夫が音楽に合わせて入場し、太夫が外八文字を踏む姿はとて美しく、釜山の方々も目を奪われている様子でした。ステージで披露された舞も素晴らしく、徐市長は熱心に見入られ、最後にサプライズでプレゼントされた舞扇をとてもうれしそうに受け取られていました。続いて、釜山広域市市立公演団のダンスが行われました。下関の方でも楽しめるようにと、日本でも有名な韓国の曲「アリラン」や「釜山港へ帰れ」などにあわせて素晴らしいダンスを披露し、大盛況のうちに式典を終えることができました。

このように、40周年を迎えることができたのも下関市と釜山広域市の先人の皆様のご努力の賜物であり、両市民一人一人の交流の積み重ねの結果であると思います。この友好的な姉妹都市関係を絶やすことなく継続していけるよう、派遣職員として微力ではありますが、責務を果たしていきたいと思っています。



下関市国際親善名誉市民証の贈呈（下関市）



釜山広域市・下関市 姉妹都市締結40周年記念式典（釜山広域市）